

## 大学の世界展開力強化事業による海外派遣学生の募集について

このたび本学では、海外大学等との連携推進プログラムである「日中韓先進科学技術大学教育環」及び「グローバル理工系リーダー養成協働ネットワーク」が、文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択されました。

「タイプ A: 日中韓先進科学技術大学教育環」は、清華大学、韓国科学技術院(KAIST)と協力し実施する、研究重視型教育プログラムです。「学部及び大学院修士課程の学生を対象とした科目履修および研究室での実験等のプログラム」、および「大学院課程の学生を対象とした研究に重点を置いた教育プログラム」を通して、質の高い履修成果の認定および研究成果の評価の枠組みを構築します。(参考資料1)

「タイプ B: グローバル理工系リーダー養成協働ネットワーク」では、欧米等の理工系トップ大学との連携のもと、欧米等で要望の高い学部生向け研究体験型海外教育プログラムと大学院生向け共同指導型交換留学プログラムを中核とする、学部入学から大学院修了・就職まで一貫した国際人教育を行うグローバル理工系リーダー養成システムを構築することにより、教育の質の保証を伴った理工系学生の新たな交流モデルを確立し、国際協働教育の共通基盤ネットワークを形成します。(参考資料2)

これらの目的を実現するため、対象校(別紙参照)への学生派遣を行います。下記の取扱いを熟読し、応募してください。

### 記

#### 1. 所属学年別／派遣の目的

大学の世界展開力強化事業では、それぞれの課程・学年の学生が、対象校へさまざまな活動を行うために留学することを支援しています。まずは、以下の表で概要を把握してください。

留学目的	タイプ A			タイプ B		
	サマープログラム	授業と研究(学期単位)	研究中心(半年程度)	サマープログラム	授業と研究(半年程度)	研究中心(半年 or 1 年)
学部生(2 年次以上)	○	○		○	○	
修士課程学生	○	○		○	○	
博士課程学生	○		○	○		○

次に、それぞれの留学目的について、詳しい説明をご覧ください。

#### 【タイプ A】 派遣先: KAIST, 清華大学

1. サマープログラムは夏季に2ヶ月程度の期間開催されるものを想定しており、研究活動を含むものが望ましい。KAIST では 2012 年夏にサマープログラムを開催することが決定しており、追って国際室から公募する。清華大学では開催を検討中である。
2. 「授業と研究(学期単位)」の場合、セメスター単位で渡航し、科目履修・研究活動の両方を行う。
3. 研究中心(半年程度)は、研究に重点をおいた留学。授業の履修は原則として行わない。

#### 【タイプ B】 派遣先: 主に欧米など全17校, 対象は別紙参照

1. サマープログラムは夏季に2ヶ月程度の期間開催されるものを想定しており、研究活動を含むものが望ましい。語学研修のみの場合は対象外。
2. 「授業と研究(半年程度)」は、タイプ B では「研究体験型海外教育プログラム」と呼ばれ、科目履修・研究活動の両方を行う。
3. 「研究中心(半年 or 1 年)」では、博士号(先方では無く本学の博士号)取得に向けた研究活動を行い、授業は履修しない。

タイプ A, タイプ B に共通して求められることは、先方大学で単位を取得する等、留学中の学修成果を客観的に評価できる形で持ち帰り、それを本学に戻った際に認定されることです。ただし「研究活動」タイプは原則として単位の取得は求められていません。

## 2. 支援内容:

本プログラムで選考された学生に対して、往復の国際航空運賃と奨学金月額8万円を支給します。(注1)

また、(本学が先方大学と直接契約を締結できる場合に限り) 宿舍料を別途負担する場合があります。

(注1) 月額8万円の奨学金については、「大学の世界展開力強化事業」とは別に、日本学生支援機構の奨学金制度により支給されるため、日本学生支援機構の奨学金受給要件を満たす者のみが受給できます。

## 3. 募集件数: 各対象校に対し1名程度(予定)。ただし清華大学, KAISTについては各5名(予定。)

特に、追加募集以降では、対象校の派遣枠が終了している場合があるので、応募に先立ち国際部留学生交流課へ問い合わせてください。

## 4. 経済支援の対象者:

- 原則として、応募時点で、本学に在籍する学部2年以上及び大学院の学生で、留学期間終了後、本学に戻り学業を継続する者。
- 成績評価係数2.0以上、かつ派遣先大学で研究活動を行うために必要な語学能力を保有する者。
- 派遣学生の国籍: 日本国籍又は永住資格を有する者。また、海外から本学に留学中の学生も対象となります(ただし国費留学生を除く。)が、母国への派遣は認められませんのでご注意ください。
- パートナー大学一覧のグループA, Bについては、本学と相手大学の双方の指導教員との間の緊密な連絡に基づき、学生の派遣が行われることが望ましい。
- パートナー大学一覧のグループCについては、相手大学から受入れの内諾があることを原則とする。

### ◇ 成績評価係数算出方法は次のとおり

前年度の成績を3段階(80~100点=3.0, 70~79点=2.0, 60~69点=1.0)で換算した後に、総登録単位数の評価平均値を算出してください。

(評価ポイント3.0の単位数×3)+(評価ポイント2.0の単位数×2)+(評価ポイント1.0の単位数×1)

$$\frac{\text{-----}}{\text{総登録単位数}} = \text{成績評価係数}$$

## 5. 支援対象時期:

平成24年4月1日から平成25年3月31日までの間に渡航し、派遣開始から12ヶ月以内に活動を終了し帰国するもの(奨学金の支給は派遣開始後となる場合がある)。

## 6. 受入大学での授業料について

a) パートナー大学のうち大学間で授業料等不徴収協定が締結されている大学(別表1グループA)の場合、先方で協定に基づく授業料等不徴収の取扱いを希望する者は、国際室が募集する「派遣交換留学」に別途応募し、採択される必要があります。(詳細は国際室ホームページ[海外留学]を参照。

<http://www.ipo.titech.ac.jp/exchange/program/index.html> )

b) 本学工学系がSERP協定またはAOTULE協定を締結している大学(別表1グループB)の場合、先方でプログラムに基づく授業料不徴収の取扱いを希望するものは、工学系国際連携室が募集する公募に別途応募し、採択される必要があります。(詳細は工学系ホームページを参照のこと。

<http://www.eng.titech.ac.jp/support/graduate/abroad2011.html>を参照。)ただしこの枠を利用できるのは工学部・工学系に所属する学生のみであり、受け入れ先大学でも部局が限定されることに留意してください。

- c) 上記以外の大学(別表1グループC)については、本学と授業料不徴収の協定が締結されていません。先方で授業料が発生した場合は原則として本人負担となります。研究交流や学生交流が正式に大学レベルにまで至っていないという相手校であるので、受入内諾についても、原則として学生本人が(指導教員を通じるなどして)取る必要があることを承知の上、申請してください。

#### 7. 応募書類:

- a) 申請書(国際室ホームページからダウンロード可能)

<http://www.ipo.titech.ac.jp/exchange/program/index.html>

- b) 成績証明書

学部生:学部の学業成績書を提出すること。コピー提出可。

大学院生:学部及び大学院の学業成績書。教務 Web システムの「成績閲覧」画面をプリントアウトしたものを添付すること。

- c) 語学試験(英語)スコアシートのコピー

#### 8. 提出方法:

応募書類は留学を希望する学生が作成し、助言・指導教員及び学科長・専攻長の承認を得た上で提出。

#### 9. 書類締切:

第1回締切(4月以降の派遣が対象):平成24年1月31日(火)17時厳守

第2回締切(5月以降の派遣が対象):平成24年2月29日(水)17時厳守

応募書類を下記書類提出先に持参してください。採択件数が募集件数に達し次第、締め切ります。

第2回締切以降は追加募集です。第3回以降については、募集がある場合は再度連絡します。

#### 10. 選考方法:

応募者から提出された申請書に基づき、書類審査を行う。

#### 11. 問い合わせ・書類提出先:

国際部留学生交流課 大学の世界展開力強化事業担当 (本館1階121号室)

(電話:03-5734-3026 Email:[ryu.jig@jim.titech.ac.jp](mailto:ryu.jig@jim.titech.ac.jp))

世界展開力強化事業 パートナー大学一覧

【グループA:全学対象】

KAIST  
清華大学  
ジョージア工科大学  
ワシントン大学  
デルフト工科大学  
スイス連邦工科大学チューリヒ校  
アーヘン工科大学  
パリテックのうち、アール・ゼ・メチエ、エコール・デ・ミンヌ・ド・パリ  
南洋理工大学  
香港科技大学

【グループB:工学部・大学院理工学研究科(工学系)対象】

KAIST  
清華大学  
ウィスコンシン大学マディソン校  
ミネソタ大学ツインシティ校  
ブラウン大学  
インペリアル・カレッジ・ロンドン  
パリテックのうち、エコール・ポリテクニーク  
南洋理工大学  
香港科技大学

【グループC】

カリフォルニア工科大学  
マサチューセッツ工科大学  
カリフォルニア大学バークレー校  
ミシガン大学アナーバー校  
スタンフォード大学

大学の世界展開力強化事業による海外派遣学生  
申請書

平成 年 月 日現在

ふりがな 氏名		性別	男・女	国籍	
学籍番号		生年月日	年 月 日( 歳)		
所属	学部・研究科 学部4年生以上記入→		学科・専攻 研究室(内線:		年 )
連絡先	(携帯電話等) (Email)				
派遣国		派遣先大学		滞在期間	年 月 日～ 年 月 日
主な活動内容 1. サマープログラム    2. 授業と研究    3. 研究中心 (2または3を選択した場合) 研究テーマ _____					
留学の目的・抱負					
活動の内容・概要(100字以内)					
活動のスケジュール					

参加により期待される効果	
受入大学との連絡状況	<p>※先方との連絡状況を具体的に説明すること。</p> <p>※サマープログラム参加申込書，連絡状況が判るメール等を添付すること。</p>
成績評価	<p>「成績評価係数」(小数点第3位以下四捨五入、3点満点) 点</p> <p>※算出方法は、募集要項を参照のこと。</p> <p>※3年次編入または本学以外の学部を卒業している場合、出身校を記入すること。( )</p>
語学試験等のスコア(取得年月日)	<p>試験名： _____</p> <p>スコア/レベル等： _____ ( 年 月 日取得)</p> <p>※それぞれの試験のスコアシートの写しを添付すること。</p>
<p>申請者が当該プログラムへ参加することを確認し、本奨学金への応募を認めます。</p> <p>(学科・専攻名) _____</p> <p>(学科助言教員/ 指導教員名) _____ 印</p> <p>(学科長 / 専攻長名) _____ 印</p>	

※ 枠内に記入しきれない場合は、複数ページ可